



平成 22 年 8 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社リンコーコーポレーション
代 表 者 名 代表取締役社長 坪 井 鈴 児
(コード番号 9355 東証第二部)
お問合せ先 取締役経理部長 山 下 和 男
(TEL. 025 - 245 - 4112)

当社連結子会社における不適切な経理処理の判明 及び
子会社における債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ

この度、当社の連結子会社である臨港商事株式会社におきまして不適切な経理処理が行われていた事実が判明いたしました。当社の連結業績に与える影響としては、現時点で約 12 億円の回収懸念債権の発生が見込まれ、当社は同社の不適切な経理処理の特定作業を進めております。

当社の子会社でこのような事実が判明いたしましたことは誠に遺憾であり、当社株主の皆様をはじめとする関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしますことを、心より深くお詫び申し上げます。

記

1. 不適切な経理処理の概要及び取立不能又は取立遅延のおそれが生じた経緯

当社の連結子会社である臨港商事株式会社において前渡金が増加し回収期間が長期化したため、当社で内部調査を進めておりましたところ、平成 18 年 8 月から平成 22 年 6 月にかけて、同社前社長及び現社長の独断により、取引先に対し金融支援を行い、前渡金を提供し続けるなどの不適切な経理処理が行われていたことが判明いたしました。また、前渡金を提供していた取引先の経営状態、資金繰りが極度に悪化していることから、現時点で約 12 億円の回収懸念債権の発生が見込まれております。

2. 今後の対応について

当社の連結子会社である臨港商事株式会社の前社長及び現社長が二代に亘り不適切な経理処理を主導していたことは、誠に遺憾の極みであり、当社株主の皆様をはじめとする関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしますことを、重ねて深くお詫び申し上げます。

当社といたしましては、今回の事態を厳粛に受け止め、厳格な社内調査を進めると同時に当社と利害関係のない弁護士及び公認会計士に協力を求め、本件の全容解明と再発防止の徹底、当社企業グループ会社に対する監督機能の強化を図って参ります。

また、今期の業績及び決算に与える影響並びに本件に関し公表すべき今後の調査結果等につきましては、判明次第、速やかに情報開示いたします。

当社企業グループの全役員及び社員を挙げて信頼回復に努めて参る所存でございますので、何卒、引き続きご理解とご支援を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

3. 対象となる子会社の概要

商 号	臨港商事株式会社
所 在 地	新潟市東区臨港町二丁目2番地
代表者名	代表取締役社長 辻 紀夫 (つじ のりお)
主な事業内容	物品の販売、貿易業務
資 本 金	1800万円
設 立	昭和41年12月1日

- ・当社は当事業会社の発行済株式の100%を保有しており、当事業会社は当社の連結子会社であります。
- ・当事業会社の前代表取締役社長 伊藤忠志 は、平成21年5月27日をもって退任し、同日、現代表取締役社長 辻 紀夫 が就任しております。

4. 対象となる取引先の概要

債権回収が懸念されている取引先については、当社子会社の債権の回収期間が長期化しているものの、現時点で営業を継続しており、相手の信用を損ねるおそれがございますので、公表は差し控えさせていただきます。

なお、当社及び子会社と当該取引先とは、資本関係及び人的関係は一切ございません。

以 上